

中国より導入されたレンコンの早出し品種特性

尾崎行生・森 欣也・松尾 要(佐賀県農業試験場白石分場)

Yukio OZAKI, Kinya MORI and Kaname MATSUO: Varietal Characteristics of Forcing Cultured Lotus (*Nelumbo nucifera*) Introduced from China

重粘質土壌におけるレンコンの早出し適応品種を選定するため、国内の早生優良品種・系統と中国より導入した品種の特性をビニールハウス栽培で検討した。

1. 試験方法

国内産の品種・系統として、‘極早生’、‘5号’、‘8号’、(以上金坂系)及び‘金澄’、中国産の品種として蘇州より導入した‘花蓮’、武漢より導入した‘8126’、‘8135’、‘8143’、‘雑2’を用いて、ビニールハウス(間口6m)で栽培した。定植は、国内産が2月12日、中国産が2月18日である。試験区は1区75㎡で、条間2.7m、株間1.2mの2条植えとした。施肥はN、P₂O₅、K₂Oいずれも1.5kg/aの全量元肥とした。

2. 結果及び考察

1) 地上部の生育: 4月17日における立葉の抽出は、‘5号’が最も多く、ついで‘8号’、‘金澄’の順であった。葉身の大きさは‘金澄’が最大であった。葉柄長についても国内産のものが一般に長い傾向があった。

収穫期における立葉の葉柄長は‘金澄’が最も長く‘8143’で最も短かった。概して国内レンコンの方が中国レンコンに比べて葉柄が長い傾向があった。葉柄径は‘金澄’、‘8143’で最も太く他は差がなかった。

2) 収量: 中国レンコンの栽培圃には石灰窒素を施用

していなかったために腐敗病の発生が顕著であり、特に‘花蓮’でこの特徴が著しかった。このため中国レンコンの収量はいずれも伸び悩んだ。全ての品種・系統の中では‘極早生’が194.67kg/aと最も多収であり、ついで‘8号’、‘8135’、‘8143’といずれも150kg/a以上を示した。

3) 肥大茎の形質: 肥大茎の主茎における平均節間長は‘金澄’が28.8cmと最も長く、‘5号’、‘極早生’も20cm以上を示した。逆に中国レンコンではいずれも20cm以下であり、国内レンコンと比較すると短節間となる傾向があった。相対的な節間長を比較するために、(節間長/横径)比をとってみると、国内レンコンではすべて3以上であるのに対し、中国レンコンはほとんどが3以下であった。肥大茎1本当たりの重量は‘8143’が2.68kgと最大で、‘雑2’、‘8126’と続いた。

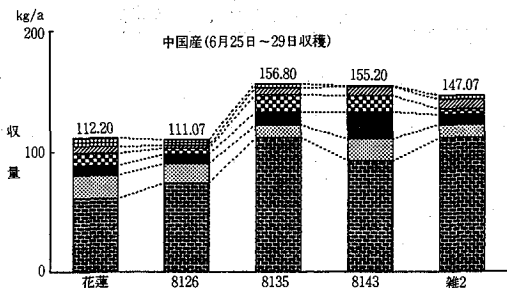
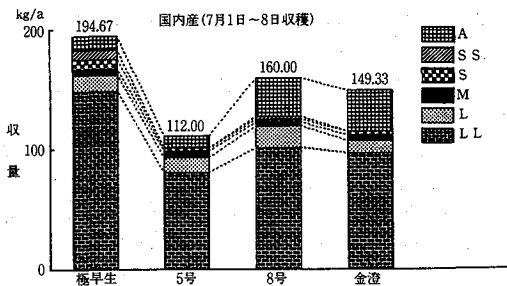
中国レンコンはいずれも2kg以上と大柄であり、逆に国内レンコンはすべて1本2kg以下で、中国レンコンと比較すると小さい傾向を示した。

肥大茎の分枝の発達度合を見るため、肥大茎の総重量に占める主茎重量の比をくらべてみると、中国レンコンではいずれも80%以下であり、中でも‘8143’は59.3%と極めて低い値を示し、分枝の発達が良かった。これに対し、国内レンコンはすべて85%以上であり‘8号’では98.4%と極めて高い値を示し、中国レンコンと比較すると分枝の発達・肥大が悪い傾向を示した。この結果から、中国産のものは分枝の発達がよい品種群であるのに対し、国内産のものは分枝の発達が悪い傾向をもつことが確認された。

以上の結果から、現在のレンコン市場では短節間の品種が要望されることを考慮に入れると今回導入した中国レンコンは極めて有望であり、腐敗病の防除対策技術が確立すれば、収量の面でもかなりの成果が期待できる。

第1表 肥大茎の形質

| 品種・系統 | 主茎 | | 肥大茎1本の | | |
|-------|-------|--------|--------|-------|----------|
| | 平均節間長 | 節間長/横径 | 総重量 | 主茎重量 | 主茎重量/総重量 |
| (国内産) | cm | | kg | kg | % |
| 極早生 | 20.0 | 3.08 | 1.830 | 1.571 | 85.8 |
| 5号 | 27.5 | 4.62 | 1.220 | 1.177 | 96.5 |
| 8号 | 18.6 | 3.01 | 1.030 | 1.014 | 98.4 |
| 金澄 | 28.8 | 4.00 | 1.890 | 1.805 | 95.5 |
| (中国産) | | | | | |
| 花蓮 | 17.2 | 2.84 | 2.037 | 1.553 | 76.2 |
| 8126 | 18.1 | 2.72 | 2.389 | 1.708 | 71.5 |
| 8135 | 14.3 | 2.00 | 2.296 | 1.728 | 75.3 |
| 8143 | 19.4 | 3.25 | 2.683 | 1.591 | 59.3 |
| 雑2 | 18.1 | 2.65 | 2.554 | 1.906 | 74.6 |



第1図 ハウス栽培による各品種・系統の規格別収量(1990年)